



平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルスピード

コード番号 2159 URL <http://www.fullspeed.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 保坂 健志

TEL 03-5728-4460

四半期報告書提出予定日 平成24年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	6,634	△24.4	336	—	299	—	126	—
23年7月期第2四半期	8,779	40.2	△74	—	△104	—	△326	—

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 114百万円 (—%) 23年7月期第2四半期 △333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年4月期第2四半期	860.95	860.16
23年7月期第2四半期	△2,272.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第2四半期	4,574	214	4.2
23年7月期	4,848	100	1.5

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 192百万円 23年7月期 74百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,400	—	420	—	360	—	200	—	1,359.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社JPS

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期2Q	147,100 株	23年7月期	147,100 株
24年4月期2Q	— 株	23年7月期	— 株
24年4月期2Q	147,100 株	23年7月期2Q	143,567 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高や欧州債務危機を発端とした世界経済の減速による影響等により、依然として先行きが不透明な展開となりました。一方、当社グループの事業領域であるインターネット広告市場は平成23年には8,062億円（前年比4.1%増）の市場（『2011年（平成23年）日本の広告費』・株式会社電通、平成24年2月公表）となり、東日本大震災の影響により市場が一部停滞したものの、ネット広告の媒体費は2010年に続き堅調に推移しております。特に、スマートフォン向け広告は337億円（そのうち検索連動広告は208億円）と急増するユーザー数や注目の高まりに応じて急激に増加しているとされ、今後も引き続き市場が拡大していくことが見込まれます。

このような事業環境のなか、当社グループはコア事業であるインターネットマーケティング支援の各種サービスの提供に注力してまいりました。グループ全体で積極的な事業活動に努めた結果、ノンコア事業が含まれていた前年同期と比較すると24.4%の減収となったものの、コア事業に経営リソースをすべて投下できるようになったことで、当第2四半期連結累計期間においてもコア事業による収益力が回復基調で推移し、引き続きグループ全体で営業黒字を確保することができました。

また、当第2四半期連結累計期間には、投資有価証券評価損48,787千円、固定資産除却損37,293千円等の特別損失を計上したものの126,645千円の四半期純利益を計上することができました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,634,342千円（前年同期比24.4%減）、営業利益336,677千円（前年同四半期は営業損失74,207千円）、経常利益299,910千円（前年同四半期は経常損失104,786千円）、四半期純利益126,645千円（前年同四半期は四半期純損失326,204千円）となりました。

セグメント別の営業概況は次のとおりです。

<インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業>

当第2四半期連結累計期間において、SEO(*1)やリスティング広告(*2)、アフィリエイト広告(*3)などのインターネットマーケティング関連の各種サービスの品質向上に向けた取り組みや、顧客単価の向上に努めたこと等が奏功し、SEO、リスティング広告などの主力サービスの売上高は前年同期と比較して増加する結果となりました。また、中小企業を対象としたインターネットマーケティングの総合支援プラットフォーム「フルスピードクラブ」会員の売上高が連結売上高の8.1%となりました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は4,292,252千円（前年同期比8.1%増）となりました。

<アフィリエイトサービスプロバイダー事業>

当事業は株式会社フォーイトが運営するアフィリエイトサービスプロバイダー(*4)事業を対象にしております。

自社開発したアフィリエイトプログラム「アフィリエイトB」および「アフィリエイトBモバイル」の営業活動に注力した結果、当事業におけるプロモーション数・提携サイト数ともに順調に増加いたしました。また、新たな業界の顧客開拓に継続して注力するほか、株式会社フォーイトが提供するfacebook用販売促進ツール「Apps-B」等の新たなサービスの拡充を図るなど積極的な取り組みに努めてまいりました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は1,637,487千円（前年同期比42.3%増）となりました。

<インターネットメディア事業>

当事業は、Webサイト運営・販売およびEC(*5)が属しております。

当第2四半期連結累計期間において販売したWebサイトはありません。また、ECにつきましては、当社による自社ECサイトの運営に加えて、株式会社ベッコアメ・インターネットによる自社ECサイトの運営およびモバイルECサイトの運営受託サービスに取り組んでまいりました。当社が運営するEC事業の売上高は減少傾向である一方、株式会社ベッコアメ・インターネットにおいては、ゲーム機器や玩具、アパレルなどの一般消費者向けのECサイトの販売が、年末年始の商戦の影響や取扱いサイト数の増加等により好調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は911,578千円（前年同期比47.0%増）となりました。

<データセンター事業>

当事業は株式会社ベッコアメ・インターネットが行うデータセンター事業が対象となっております。新たな需要開拓に努める一方、データセンターの増設や仮想化サービス等の現在の環境や顧客ニーズに則したサービスの充実を図る等の積極的な施策が奏功したことにより、引き続き受注は順調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は421,591千円（前年同期比6.5%増）となりました。

<その他事業>

当事業には、株式会社ベッコアメ・インターネットが提供しているCATV/ISP向け専用線サービス等の事業が含まれております。

当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は206,602千円となりました。

- *1 SEO(Search Engine Optimization) : 検索エンジン最適化。顧客のWebサイトが検索エンジンからの評価を高められるようにサイトやリンク構造を最適化する技術。
- *2 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- *3 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- *4 アフィリエイトサービスプロバイダー : 広告主とリンク元となるサイト運営者を仲介する業者。
- *5 EC(Electronic Commerce) : 電子商取引。インターネット等コンピュータネットワーク上で、電子的な情報交換により商品やサービスを分配・売買すること。

(当連結累計年度における事業区分別販売実績)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業	4,292,252	64.7	108.1
フルスピードクラブ	538,150	8.1	109.9
SEO	212,322	3.2	93.0
リスティング広告	2,400,672	36.2	114.3
アフィリエイト広告	883,264	13.3	96.8
その他広告	173,519	2.6	124.5
その他	84,322	1.3	85.6
アフィリエイトサービスプロバイダー事業	1,637,487	24.7	142.3
インターネットメディア事業	911,578	13.7	147.0
Webサイト運営・販売	10,619	0.1	38.4
EC	900,959	13.6	152.1
データセンター事業	421,591	6.4	106.5
報告セグメント計	7,262,909	—	118.4
その他	206,602	3.1	62.0
消去	△835,169	△12.6	98.1
合計	6,634,342	100.0	75.6

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は3,365,851千円となり、前連結会計年度末に比べて67,059千円増加しました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

固定資産は1,208,329千円となり、前連結会計年度末に比べて341,622千円減少しました。これは、主にのれんの償却と賃貸契約変更、解約に伴う差入保証金の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は3,121,576千円となり、前連結会計年度末に比べて16,843千円減少しました。これは、主に未払法人税等の減少と、未払金の減少によるものであります。

固定負債は1,238,050千円となり、前連結会計年度末に比べて371,853千円減少しました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は214,553千円となり、前連結会計年度末に比べて114,134千円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期（平成24年4月期）につきましては、SEO、リスティング広告、アフィリエイト広告等のインターネットマーケティング関連の事業展開に経営資源を集中し強化に努めると共に、親会社であるフリービットグループの技術支援を受け協働で将来に向けた新事業の企画、開発にも取り組んでまいります。

また財務面については、継続して営業利益を創出できるまでに回復したことから、着実に利益を積み上げることで財務体質の改善・強化に取り組んでまいります。

具体的には、以下のとおりの施策に注力してまいります。

- ① ナショナルクライアントの開拓に向けた営業・サービス体制の確立
- ② 地方都市における地域ドミナントOEM展開による低価格ゾーンを開拓
- ③ 圧倒的な技術力の差別化による提供サービスの向上
- ④ 高付加価値サービスの開発に向けた自社システム開発体制の確立

引き続き、これら4つの施策を積極的に推進することで、収益力の強化および財務体質の改善・強化に努めてまいります。

平成24年4月期通期の連結業績予想（9ヵ月決算）につきましては、平成24年3月9日付で「平成24年4月期第2四半期累計期間連結業績予想との差異および平成24年4月期通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社の主力事業であるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告等のインターネットマーケティングの既存サービスにおいて、サービスの品質向上の各種施策に取り組んだことにより業務効率が向上したことや、徹底したコスト管理に努めたこと等が奏功し、利益面において、さらに改善傾向が顕著となり、計画を上回り推移いたしました。

そのため、平成23年10月27日付で公表いたしました通期の連結業績予想につきましても、現状の動向を踏まえ、上方修正いたしました。

(注) 決算期変更に伴う通期業績予想の修正について

平成23年10月27日開催の定時株主総会において、「定款の一部変更の件」が承認されたことに伴い、当社の事業年度は毎年5月1日から翌年4月30日までとなりました。

これに伴い、決算期変更の経過期間となる当期（平成24年4月期）は、平成23年8月1日から平成24年4月30日までの9ヵ月間の変則決算となるため、平成23年10月27日付で当期の通期連結業績予想の修正を公表いたしました。なお、現在の通期の連結業績予想（9ヵ月決算）は、期初公表の予想（12ヵ月決算）の8月1日から翌年4月30日までの9ヵ月間を集計したものであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式会社JPSは保有株式の売却に伴い、当第2四半期連結会計期間末において連結範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度におけるノンコア事業の売却に伴い、純資産が大幅に減少いたしました。当該状況により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、引き続き次の施策を実施してまいります。

前連結会計年度のノンコア事業の売却により、当社グループは、インターネットマーケティング関連のコア事業の展開に経営資源を集中しております。現在、当社グループのコア事業の業績は黒字を継続しており、回復基調で推移しております。今後も、引き続き、定評のあるSEO、リスティング広告、アフィリエイト広告などを中心に、インターネットマーケティングの各種サービスの提供に注力することで、当社グループとして早期の業績回復を実現するとともに、さらには、安定した収益基盤と強固な財務基盤の構築に努めてまいります。

また資金面でも、親会社であるフリービット株式会社との連携強化の一環として、親会社が実施しているグループファイナンスを通じて、当社は資金需要に応じて親会社から必要資金を柔軟かつ機動的に調達できる体制を構築しております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,516,777	1,330,472
受取手形及び売掛金	1,442,391	1,750,440
商品	82,478	80,689
未収入金	43,304	4,049
前払費用	56,084	45,389
繰延税金資産	56,043	48,930
その他	150,163	153,103
貸倒引当金	△48,452	△47,223
流動資産合計	3,298,791	3,365,851
固定資産		
有形固定資産		
建物	351,609	358,559
減価償却累計額	△121,476	△137,684
建物（純額）	230,132	220,875
工具、器具及び備品	1,073,873	919,047
減価償却累計額	△868,499	△771,549
工具、器具及び備品（純額）	205,374	147,498
土地	172,241	172,241
リース資産	23,525	41,480
減価償却累計額	△13,802	△18,290
リース資産（純額）	9,722	23,190
建設仮勘定	—	47,250
その他	2,452	1,582
減価償却累計額	△2,047	△1,261
その他（純額）	405	320
有形固定資産合計	617,876	611,376
無形固定資産		
ソフトウェア	46,940	40,223
のれん	211,429	87,540
その他	52	8,872
無形固定資産合計	258,421	136,635
投資その他の資産		
投資有価証券	220,619	152,220
長期貸付金	152,220	128,220
破産更生債権等	355,398	358,388
繰延税金資産	7,183	970
差入保証金	250,848	180,807
その他	76,738	4,922
貸倒引当金	△389,354	△365,213
投資その他の資産合計	673,654	460,317
固定資産合計	1,549,952	1,208,329
資産合計	4,848,744	4,574,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,042,880	1,053,614
短期借入金	1,010,498	1,177,000
1年内返済予定の長期借入金	638,567	546,794
リース債務	4,075	6,340
未払金	137,687	119,532
未払法人税等	74,781	59,866
未払消費税等	66,861	57,890
賞与引当金	23,500	16,718
その他	139,567	83,819
流動負債合計	3,138,420	3,121,576
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,398,610	1,064,463
リース債務	5,646	16,850
繰延税金負債	23,740	15,278
その他	81,906	41,459
固定負債合計	1,609,904	1,238,050
負債合計	4,748,324	4,359,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	746,611	746,611
資本剰余金	717,611	717,611
利益剰余金	△1,402,124	△1,275,479
株主資本合計	62,097	188,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,455	3,554
その他の包括利益累計額合計	12,455	3,554
少数株主持分	25,866	22,257
純資産合計	100,419	214,553
負債純資産合計	4,848,744	4,574,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
売上高	8,779,172	6,634,342
売上原価	6,097,903	5,185,108
売上総利益	2,681,269	1,449,234
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	705,871	403,305
地代家賃	429,106	77,318
減価償却費	67,675	25,824
のれん償却額	273,129	53,369
貸倒引当金繰入額	87,411	4,175
賞与引当金繰入額	8,993	12,666
その他	1,183,287	535,895
販売費及び一般管理費合計	2,755,476	1,112,556
営業利益又は営業損失(△)	△74,207	336,677
営業外収益		
受取利息	682	1,926
受取配当金	—	1,724
受取保証料	25,112	—
物品売却益	4,463	—
その他	6,905	1,025
営業外収益合計	37,163	4,676
営業外費用		
支払利息	39,048	28,204
支払手数料	8,942	5,532
貸倒引当金繰入額	19,166	6,824
その他	584	882
営業外費用合計	67,742	41,443
経常利益又は経常損失(△)	△104,786	299,910
特別利益		
前期損益修正益	112	—
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	112	10
特別損失		
固定資産除却損	14,214	37,293
投資有価証券評価損	101,059	48,787
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,909	—
その他	14,953	5,934
特別損失合計	170,137	92,014
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△274,811	207,906
法人税、住民税及び事業税	44,711	76,193
法人税等調整額	28,092	8,677
法人税等合計	72,804	84,870
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△347,616	123,035
少数株主損失(△)	△21,411	△3,609
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△326,204	126,645

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△347,616	123,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,568	△8,901
その他の包括利益合計	14,568	△8,901
四半期包括利益	△333,047	114,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△311,635	117,743
少数株主に係る四半期包括利益	△21,411	△3,609

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△274,811	207,906
減価償却費	133,511	73,854
固定資産除却損	14,214	37,293
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△10
投資有価証券評価損益(△は益)	101,059	48,787
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	39,909	—
のれん償却額	273,129	53,369
貸倒引当金の増減額(△は減少)	106,497	8,885
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,621	△6,781
受取利息及び受取配当金	△682	△3,651
支払利息	39,048	28,204
売上債権の増減額(△は増加)	△205,429	△341,050
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,335	656
前払費用の増減額(△は増加)	28,540	△3,994
前渡金の増減額(△は増加)	42,144	28,700
仕入債務の増減額(△は減少)	△201,096	58,759
未払債務の増減額(△は減少)	△61,446	△61,573
未払消費税等の増減額(△は減少)	50,248	△7,984
その他	△18,646	△6,045
小計	66,478	115,325
利息及び配当金の受取額	682	3,660
利息の支払額	△42,579	△27,616
法人税等の支払額	△133,981	△94,624
法人税等の還付額	50,944	23,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,456	20,370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,477	△65,999
無形固定資産の取得による支出	△5,307	△12,212
投資有価証券の売却による収入	—	1,210
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	26,386
貸付金の回収による収入	833	12,075
差入保証金の差入による支出	△14,653	△1,768
差入保証金の回収による収入	170,539	34,519
その他	62,246	△14,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	171,181	△20,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	120,245	166,502
長期借入れによる収入	490,000	—
長期借入金の返済による支出	△513,516	△356,484
株式の発行による収入	628	—
配当金の支払額	△158	△88
その他	△55,368	△22,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,830	△212,943
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	154,554	△212,912

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	1,390,655	1,500,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,545,210	1,287,448

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年8月1日 至平成23年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業 (千円)	アフィリエイトサービスプロバイダー事業 (千円)	インターネットメディア事業 (千円)	データセンター事業 (千円)	アパレル事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への売上高	3,965,807	316,417	616,529	385,748	3,161,399	8,445,903	333,269	8,779,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,225	834,661	3,442	10,264	—	851,592	—	851,592
計	3,969,033	1,151,079	619,971	396,012	3,161,399	9,297,496	333,269	9,630,765
セグメント利益又は損失 (△)	292,802	87,511	23,551	32,739	△282,452	154,152	△8,580	145,571

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	154,152
「その他」の区分利益	△8,580
セグメント間取引消去	△6,174
全社費用 (注)	213,604
四半期連結損益計算書の営業損失	△74,207

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年8月1日 至平成24年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					計 (千円)	その他 (注) (千円)	合計 (千円)
	インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業 (千円)	アフィリエイトサービスプロバイダー事業 (千円)	インターネットメディア事業 (千円)	データセンター事業 (千円)				
売上高 外部顧客への 売上高	4,291,052	815,397	910,269	411,020	6,427,739	206,602	6,634,342	
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,200	822,089	1,309	10,570	835,169	—	835,169	
計	4,292,252	1,637,487	911,578	421,591	7,262,909	206,602	7,469,512	
セグメント利益 又は損失 (△)	316,670	156,133	18,837	30,131	521,772	△1,105	520,667	

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CATV/ISP向け専用線サービス等を含んでおります。

前連結会計年度において、株式会社リアム（旧ギルドコーポレーション株式会社）を連結の範囲から除いたため、報告セグメントから「アパレル事業」を除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	521,772
「その他」の区分利益	△1,105
セグメント間取引消去	517
全社費用 (注)	184,506
四半期連結損益計算書の営業利益	336,677

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。